

研究ではない大学の恩恵

梶本 興亜

理学研究科教員



長い大学生生活であった。大学に入学した18歳から定年の63歳まで、なんと45年間を大学という場で過ごさせていただいた。その間の、研究・教育に関して大学から受けた恩恵は言葉に尽くせない。しかし、大学からは、研究・教育以外にも、数知れない恩恵を受けてきた。ここでは、そのうちのごく一部だが、生協と植物園について書いてみたい。

大学生協とのつき合いもまた45年間にわたる。入学式の時に京都大学の学生帽を買ったのが始まりのように思う。学生帽をかぶって記念の写真を撮った。ラジオと置き時計と小さな座り机、そして30W (!) のコタツという僅かな下宿用品を揃え、教科書を購入したのも生協である。そして、毎日の食事は、昼は吉田食堂、夜は西部食堂で食べた。それ以後40年以上も、大学こそ変わったが、昼と夜は生協食堂で食べてきた。長生きできたら生協の食事に感謝しなければならない。大阪大学、東京大学、京都大学と遍歴したが、食事のバラエティーと美味しさは京都大学が一番である。定食メニューでなく、50を越えるおかずの選択肢を準備したメニューからは、下宿生の健康を思って作っているということがひしひしと感じられた。食費

は1日200円と決めていたが、昭和30年代の生協では結構良いものが食べられた。最高のメニューは時計台地下食堂のビフテキで、200円したが、これは最後まで手が出せなかった。

最近の生協食堂は、ますますバラエティーが増えて自分で色々な組み合わせが出来るので楽しい。しかし、この1年ほど前から辛いものが多くなった。昔は、年寄りほど味覚が鈍くなって辛いものを好むといわれたが、最近は若者の方が激辛好きである。そのせいだと思うが、何でもかんでもピリピリと辛い。もともと日本料理は、生地の味を大切に、辛いものが好きな人は芥子や七味唐辛子で自分好みの味付けをするように出来ていた。最近のように、初めから辛くしてあると、生地が悪いから誤魔化すための味付けではないかと疑りたくなる。辛いものが苦手な人にとってはバラエティーが半減したと云えよう。これまでの恩恵に感謝し、これからの生協の発展を願う気持ちに添えて、少し意見を言わせていただいた。

生協ではないが、散髪屋さんにも思い出が多い、学生時代は時計台下にあった散髪さんによく通った。「総長も来られるのですよ」と散髪

屋の親父さんが誇らしげに言っていたのを思い出す。若い女性の従業員に頭を洗ってもらうのも、ちょっぴり楽しかった。結婚式の前の日に、散髪屋さんでその旨を話したら、いつもの倍以上の時間をかけてやってくれた。もちろん代金は同じである。

大学の木々に初めて目を向けたのは、40歳の頃からで、東京大学の駒場キャンパスに通っていた時のことである。駒場キャンパスは、今は教養学部であるが、元は農学部の敷地であり、実に多様な木々が植えてある。例えばサクラは、3月中旬に咲く彼岸桜から始まり、ソメイヨシノ、山桜を経て、俗に里桜といわれる八重の桜まで、1月半にわたって楽しめる。木の花も、早春の梅に始まって、レンギョウ、コブシ、もも、ハナミズキ、ドウダンツツジ、ニセアカシア、ベニバナトチノキと続き、金木犀、桜、そしてツバキやロウバイまで何時も何処かで咲いている。見ているうちに、もっと木について知りたくなり、理学部附属の小石川植物園に出かけるようになった。駒場の木の紹介をする冊子を書こうとまで思い立った頃に、京大に返ってくるようになった。

京大理学部に移ってしばらくは研究に夢中であったが、ちょっと余裕

の出た折りに、理学部附属植物園と農学部植物園に踏み入った。森のような理学部植物園と、見本園が充実した農学部植物園を巡りながら、こんな宝物があったのかと、小躍りした。こんなに身近に2つも植物園があり、昼休みに出かけられるというのは大きな恩恵である。素人ながら木々を見ているうちに、一つの木的一年を追いかけてたくなるのが常である。冬芽、蕾、花、葉の展開、紅葉

など、木を決めて追いかけると、愛着が湧くと同時に、生命の不思議に触れる感じがする。近くに植物園がなければ、このような楽しみ方は難しい。

京大に学ぶ学生のどれほどが植物園の存在を知っているだろうか。環境指向の学生が多くなっているが、理屈ではなく、自然を愛する心からの発想であって欲しい。そのためには、静かな植物園を散策して木々

や虫に触れることはとても大切である。せつかく持っているこの財産を大切に扱って、未来のために使って欲しいと願う。このところ、京大理学部植物園を巡って色々と議論がある。法人化されてから、管理体制を整えることばかりが声高に叫ばれるようになり、植物園も気ままに入りづらくなった。大学から余裕というものが消えていくようで、なんとも残念である。

* 「木々の移ろい」 <http://www.asahi-net.or.jp/~ir5o-kjmt/kigi/kigihome.htm>
植物園で集めた写真を中心に、約 800 種の木々の花や実を載せています。